



第七卷 第五號

発行所 方城村公民館
編集発行人 辰巳印刷所
冷牟田印刷合資会社

中学校の現状より

文化村に期待す

方城中学校長 山本保

「村政と教育について」の要請であつたが、あまりにも範囲が広くて...

一、文化方城村と職務教育について

文化村としての基礎を物質文化と精神文化の何れに求めるかは、過去本紙に於て各位より卓見が述べられたので、敢て私見を叙述して紙面を徒費する要もあるまい。

文化村として名固共に充実し、更に発展するため特に考慮願いたいのは村内義務教育三校の問題である。

私は先ず教育的な立場から子供の幸福増進への施策を各村民の方々に要望したい。村後継者の教養を高め、知性に自覚した進しい実践力を有する生徒を育成することによってこそ文化村としての素地は形成され、こ

れ程優れる生産事業は無いと確信する。

文化村を形成する基礎的要件として本村中、小学校の整備充実と学校支援の体制確立こそ喫緊の要務ではあるまいか、人は人によって作られ、環境によって作られる学校教育より社会教育への一貫的教育営為のためにも、先ず義務教育の充実を強調したいのである。

二、中学校教育推進の隘路

一、道徳教育の必要性
地域の環境複雑性と生徒の実態多様性(生徒数一、一〇〇名、出身地三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百)

等が影響して、生徒の協力的性、公共物愛護觀念に乏しく浮動性が強く、真に落ち着いた感情で地道に学習する態度と、学校、学校を愛して、本校独自の校風を樹立しようとする意欲の低調が認められる。本校教育推進の基礎として道徳教育を研究課題として研究実践に努力している所以が此処にある。

二、具体的実践方策
1 道徳的知見の啓蒙
① 真剣なる学習—基礎学力の向上

上へ家庭学習の徹底
② 委らざる道徳(先験的内容)と変る道徳(経験的内容)との判断力養成
2 道徳的実践
① 礼儀正しい生徒—学校内外の生活指導
② 光る学校に—清掃学習の徹底
③ 勤労精神の啓蒙実践
④ 校風の樹立—職員生徒の自主創造と自発活動による積極的実践により健全なる校風の樹立

三、道徳教育推進の隘路

1 学校諸施設が不足
① 情操教育施設が必要
② 視聴覚教育施設が必要
③ 学校図書施設が必要
④ 健康教育施設が必要

2 社会環境の浄化促進
学校教育が家庭及び社会に於て冷却されてはならない。村内健全な環境の育成と青少年指導の強化とは是非考慮願いたい問題である。

三、一般施設の整備促進について

1 正門がほしい
2 講堂がほしい
3 校舎の周囲に煉瓦塀がほしい
4 特別教室がほしい

生徒数の増加に伴い、理科室、図画室、工作室、保健室、教員室等の特別教室がなくなった。実験実習を重視する中学校教育崩壊の第一歩、生徒の学力低下が心配される。

5 運動場に外柵がほしい
6 其他の教材、教具の整備充実、校舎運動場の排水施設、校地緑化等々。

四、職業教育施設の促進について

1 職業教育が出来ない国家再建の基礎を中学校職業教育に求めて
② 委らざる道徳(先験的内容)と変る道徳(経験的内容)との判断力養成
2 道徳的実践
① 礼儀正しい生徒—学校内外の生活指導
② 光る学校に—清掃学習の徹底
③ 勤労精神の啓蒙実践
④ 校風の樹立—職員生徒の自主創造と自発活動による積極的実践により健全なる校風の樹立

五、生徒数激増に伴う問題

昭和三十四年度には、伊方小学校児童数三、二二六名(五六学級)となり、昭和三十八年度には中学校生徒数一、〇三六名(三七学級)となるこの児童、生徒数を、この校地に収容することを想起して憚然たる思いである。今からこれが根本的打開策樹立の必要はあるまいか。

新しい農業委員会について

農地係 堅 道

昭和二十六年七月二十日に発足した農業委員会の委員は、本年七月十九日任期満了となり、新しい農業委員会が七月二十日より発足する事になった。農業委員会の選挙は七月十六日全国一斉に執行される事になり本村は村条例により決定した選挙委員の定数十二名に対して、所定の期日迄に十四名の立候補者の届出があり、相当激甚なる選挙戦が予想されましたが、村内に於て無謀なる競争を避けるべく、立候補者中(新門)鈴木市平、(野添)木村大吉の両氏が自発的に候補者たる事を辞退されたため、こゝに無投票となり七月十六日の選挙会に於て左記の諸氏が委員として夫々当選した。

伊方校舎新築について 皆様へのお願い

伊方小学校校舎新築については、村執行部村議会は勿論推進力となってお世話を頂くと共に、其の対策を概ね次のように決定致しました。旧校舎解体に伴う児童の処置について(起り得るであろう諸種の問題を

代表者会議員として原田秀次郎氏が満場一致により互選され、茲に完全なる新築の態勢は成った。今より愈々農民の代表機関としての農業委員会の事業が推進されて行くが、その主目的たる自作農創設、維持、土地改良事業等は本年度に課せられたる小作料改訂事業等、数多山積されておられるに鑑み、委員会の責務たるや実に重大なるものあり、前委員会に引き続き、新しい委員会の活躍が期待される。

Table with columns: 職名, 氏名, 選挙, 選任別. Lists names like 倉石清治, 荒木良和, 原田秀次郎, etc.

地上の楽園を目ざして

高津 久雄

最少限度に喰止めるには)このことについては父兄や他の方面から意見が多く教育方式について夫れくの立場から強く主張される向もありました。が、何れも一利一害一得一失があるもので、教育の現場を受持つ先生方の意見を尊重した結果、現在の圧縮授業を行うことに決定致しました。

久宗先生、先日は、御西気と農事に御精進の御通情を頂きまして有難度う御座いました。先生の御講演を聞いて、工夫と、実行と、努力にも依り、埋れがらの百姓の生活にも、幸福が求められることを、はっきりなすことが出来るました。然しやうて見よう決意したことが、兎角実行の面でも、あるものがありませんが、御端書を書いて是ではならぬ、実行だ！実行だ！と云う意気が湧然と起て参りました。そうした先生の感化力を心から感謝申し上げます。

園付を致しました。養鶏も羽数を増しました。池に鯉の稚魚を放しました。食糧の緩和と甘藷の栽培を手控の予定でありましたが、飼料の点に考へ、急に栽培面積を増加しました。自給肥料の点を考へ、堆肥舎を改造したと計画致して居ります。現在の和牛を乳牛に変更し、栄養摂取のことも資したいと考へさせられて居ります。

私共素手百姓には、五月の田植は全く苦手で、毎年相当の苦勞を重ねて参りましたが、先生の講演を聞いてから気が持が非常に明るく、六反歩余の耕作も本年は、勤務片手に人手も借り、家族だけで、順序よく準備が進められました。農村で場に勤める職員の一人として、立休農業経営のまねかただけでも実行出来れば、農村の人々に対する手前、面目ありと感服されて居ります。毎日の張り切った得場勤務と家庭に於ける労働の中に、微笑みに満ちた幸福感に浸って居ります。

終戦後の苦境の中に於て、一番強く印象付けられたことは、人たよりで断じて苦境の打開は出来ぬ、自分以外に自分の頼みとするものはない自分を守るものは、自分自身だと云うことでした。私は現在恵まれた健康と、みちくした幸福感で、元氣一杯勤務に精勵致して居ります。それと同時に、又一個の農夫としても、家族と共に農道に精進を続けて居ります。先生の直弟子とまでは行かずとも、又弟子位には是非なりたいたいと意願致して居ります。切に今後御指導と御鞭撻をお願い申し上げてやみません。終りに先生の御健康と、御多幸をお祈り致します。

国民健康保険の被保険者の皆さんへ

保 險 係 葛 原

の 研 究 を 傾 注 し て、一 日 も 早 く 被 保

險者の皆さん達が希望する所の、社会保険制度の基礎たる真の国民健康事業として飛躍的な発展を皆さんと共に希って已まない次第であります。尚昭和二十八年に於ける本村国民健康事業の実績を次の通りお報告申し上げます。

昭和28年度方城村国民健康保険事業状況(A)

被保険者世帯数(平均)	839世帯	保険税収納額	1,103,710円
被保険者数(%)	4,146人	保険税収納率	97%
保険税調定額	1,141,340円	被保険受診率	126%(被保険者1人が年1.26回受診)

昭和28年度方城村国民健康保険給付状況(B)

種 別	受診件数	診 療 日 数	同 点 数	診 療 費 額	保 險 者 (付) 費 担 額	一 部 負 担 金 公 費 担 額 (被 保 險 者)	一 件 当 診 療 日 数	同 日 点 数	一 日 当 点 数
療 養 給 付									
一 般 入 院	86	1,401	52,863	538,195	268,320	268,315	16.3	614.7	37.7
診 療 入 院 外	4,696	18,014	216,260	2,246,618	1,118,089	1,074,532	3.8	46.0	12.0
給 付 歯 科 診 療	275	1,199	9,172	95,816	47,918	47,898	4.3	33.3	7.6
計	5,057	20,614	278,295	2,880,629	1,434,327	1,390,745	4.0	55.0	13.5
療 養 費	83	1,106	32,361	339,460	162,730	168,730	13.3	389.8	29.2
小 計	5,140	21,720	310,656	3,220,089	1,604,057	1,559,245	4.2	60.4	14.3
助 産 費	56	—	—	33,600	33,600	—	—	—	—
葬 祭 費	41	—	—	24,600	24,600	—	—	—	—
合 計	5,237	21,720	310,656	3,278,289	1,662,257	1,559,245	4.2	60.4	14.3

注、一点当り単価 10円50銭。但し国立療養所9円20銭。 国立病院 10円35銭。

伊方小学校々舎建築着工
待望久しき伊方小学校々舎の建築が漸々着工の運びとなった。
請負金額 一、一六〇、〇〇〇円
坪 敷 四八三、六二五坪
着 工 六月二十一日
竣 工 十一月五日
請負者 木戸 勝広

先生が午前九時から午後五時に至る間、中食時に僅か三十分余りの休憩をされたのみで、約七時間半に亘り二百名からの聴衆を傲動もさせず熱心に傾聴させられたあの内容、あの情熱、あの努力、今更の如くじつとしては居られない気が致して居ります。考へて見ると私共、百姓の生活には無反省に依る無駄が余りにも多いと云うことあります。足下に來襲して来た、農村不況の嵐に対処して、先生の示範されつゝある、立休農業経営方法の中、其の一つでもまねて、此の荒波を乗り切ろうと意気込んで居ります。

私は早速、家敷内に柿苗を数本植込ました。雑草の台木を五本余り

私共素手百姓には、五月の田植は全く苦手で、毎年相当の苦勞を重ねて参りましたが、先生の講演を聞いてから気が持が非常に明るく、六反歩余の耕作も本年は、勤務片手に人手も借り、家族だけで、順序よく準備が進められました。農村で場に勤める職員の一人として、立休農業経営のまねかただけでも実行出来れば、農村の人々に対する手前、面目ありと感服されて居ります。毎日の張り切った得場勤務と家庭に於ける労働の中に、微笑みに満ちた幸福感に浸って居ります。

住民登録の励行について

戸籍係



皆さん、住民登録制度が施行されてから二周年になります。住民登録という制度は皆さんもすでに御承知のとおり、市町村の住民たる資格を持つておられる方を住民票に載せて明確にしておくものであります。そこで一昨年七月この制度が施行の際登録に洩れている人は、今からでも届出下さい。

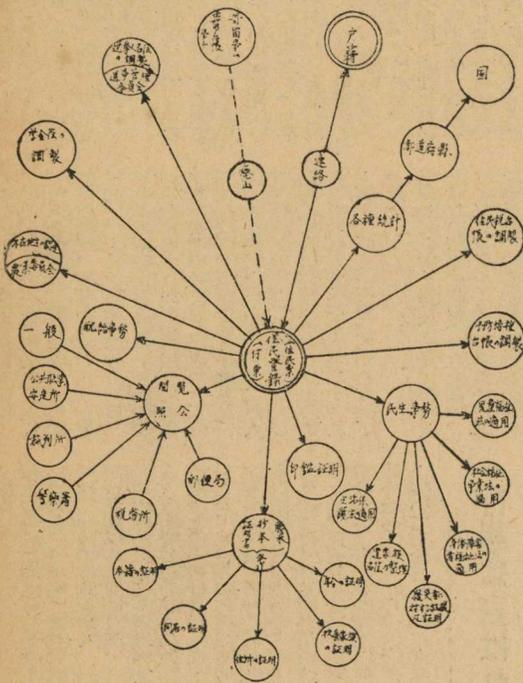
また、登録している人でも、住所が変ると毎に届出をする義務があります。私たちはそれをすることによって方城村民としての権利を主張することが出来るのです。住民登録制度は住民としての資格を証明する制度でもありますから、皆さん方は、選挙や、入学や、主食の配給や居住

証明等いろいろな行政上の特権を受けることができ、日常生活の面においても非常な便益があるわけです。又この制度は皆さんが引越をしたとか世帯主が変わったとか、同居人に異動があった場合とかはその都度十四日以内に役場へ届出しなければなりません。もし、届出を怠ると法の定めるところにより、五百円以下の料に処せられることがありますから、呉れくも注意して下さい。役場ではこのため届書はいつも窓口を用意してあります。又住民票の閲覧や、謄本、抄本等の交付も簡単に受けられ、その謄・抄本は、戸籍の謄・抄本の代用として用いる事が出来ます。

皆さん！引越の場合や、新世帯を作った場合は、転入、転居、転出の届出を忘れないよう注意しましょう。又世帯主が転出その他で変わった場合は、世帯主変更の届出を直ぐ致しましょう。皆さんが日本国民として公証されるのは戸籍であります。然し戸籍はあっても住民としての登録がなければ、住民としての公証が出来ませんので、種々の受益権が無効となるのであります。

登録は厳正に!!
登録は義務だ、自覚だ、責任だ、登録を済まして明るい、おらが村

住民登録制度を中心とした市町村行政事務関係図表



公民館だより

青少年をヒロボンの毒毒より守るため、その講演会が地区分館に於いて行はれた。

一、大星分館 (五月十日)
田川教育出張所松本先生を講師に館長出席のもとに地区分館長及分館員一〇〇名が参集、公民館の運営について研究会が行はれた。各自の熱心なる態度と時間効行が徹底していた事は、分館発展に力強いものを感じた。

一、分館視察来村 (六月十日)
富田町より三十一名来村、大星分館の運営其の他について見学、分館長桑野先生より説明があり、方城村の古代理史に及ぶや、意義あるなかにもなごやかな雰囲気につまれました。

一、草場分館落成式 (六月十三日)
社会教育実践の旺盛なる意欲結果により、その修養の場が落成した建設も至難であるが、その運営と活動はより至難といえる、仏作て強われずならぬ様に地区の方々の活発なる御努力が期待される。

一、八幡町後谷上分館R (六月十三日)
伊方校々庭に於いて両分館員の和協と体育の向上を目的として野球試合が行はれた。

一、立体農業化の実地学習 (六月二十二日)
青年学級の実地講習として長浦の学級生が岡山県の久宗農場に於いて一週間の講習を受けた。その成果の発表を計画している。

一、人権講演会 (七月十日)
人権擁護委員協議会と共催により金田小学校々堂に於いて私達に与えられた人権の大切な内容について九大教授小林栄三郎先生の講演があり、当村より多数の出席を得

て盛会に行はれた。

一、婦人学級本館講習会 (七月十五日)
家庭生活を明るく楽しいものにするため、糠漬の講習会が開催された。講師として農業改良普及事務所長榎本先生を招き、参加者一六〇名、盛会を極め、生活改善の良き一日をすごした。

二、帰米報告 其の二
芦馬 虎雄

早いもので帰朝以来五ヶ月に垂々として居りますが、私の終生忘れぬ事の出発の地は、何と云っても皇太子様と御一絡め。た事で、昨年の三月三十日横浜の公園の桜も昨年開かんとする絶好の季節、我々一同四十八名の心中はいやが上にも感激に波打ち、恰も自分がプリンス(皇太子)になった様な気持で二万トンのアレセント、ウィルソン号の船上の人となつた。二百数隻の大小の船の波に送られる胸中や正に壮なるものがありました。

然し一度黒潮に乗れば、流石巨船も左右に揺られて、若干の者は顔色なく三等のキンク鳴るベツトに身を横たえて、去来するものは未知の世界への憧憬と、使命敢徹の意気に至る処に若人の議論が聞かれていた。中でも四国、九州勢は天を衝く概あり、早稲田大学のR君も、学歴を持たない吾々も、大差なく実力と実力の相対つ社だ。

四月一日船酔い嫌の私は、皇太子が来たと言つのでハネ起きて甲板に上る。もう九州勢の一例の炭坑節を踊り始めた。皇太子はニコニコ顔で非常に嬉しそうだ。バレーボールの

公民館だより

一団の稽古もやっている。見てる中に、殿下の頭にボールがポンと命中、トタンに一同ハッと驚いたが殿下はニヤリ、此処で写真を撮るの一心になっていた私の為に前に出てポーズをとって呉れた。船の中の生活は只無闇に寝ているの船酔い大嫌の人が物事をやる気力を失ってて了。但し頭で考える事も若干ニブって来るが議論は尽きない私に取ってわ英語の出来なかつた事が何よりの苦痛であった。上陸した先づ失敗が続くだろうと予測して只それが心配で耐えられない。グットモーニング位は知っているが、一週間位の速成教育では、会社において未だく速い話で英語が頭の中から消えず、勉強しようにも船酔いで生活に飽きて来た。

日記にわ短歌や詩が続き単調な船の生活に飽きて来た。食事も素晴らしいもの計りで、最初から飽和状態だ、甘党の私は甘納豆を一貫目買ひ込んで乗船したが、半月振りサンフランシスコに着く頃漸く終った。物量の国の偉大さをしみじみ知らされたのである。

四月六日、七日目にしてハワイの島を見る。一回子供の様に見える中にアロハの塔が見える、緑したる熱帯樹の林、パールハーバを左に見ながらスコールの後のホノル、港に入る、皇太子を迎える数々の日本人中には、「三世の子供の振袖姿が三十余を見える。

カネカ娘のフラダンスも珍らしく、コ、ヤシのある港に上陸し、日焼けした日本人の多数の人々に迎えられた時は何とも言えない気持ちだ。ハワイの印象は先づ土人の売っている花輪、清潔な街、日本人の多い事等が挙げられるが、何と言っても自動車が多い事だ。大体アメリカにわ三人に一台の割合に自動車を持っている。カルホルニヤ州でわ二人に一台と教った。然し現実に見る世界は亦別だ、街を歩いている人影を思い、まるで自動車の波である。パリーの断崖と言つ非常に景色の良い処を案内されたがその帰りに行き交う自動車の数を算えたら、十五分間位に八百十五台を算え吃驚した。種々話を聞くと日本人約三十一万人政治経済を牛耳っているとか、大したもの今次大戦中でもハワイの日本人は何もする事も出来なかつた。と聞き、那人の努力に心から頭が下った。

奇麗な街とする為、絶対に薪を炊かせない程で、埃一つ立たない、パインアップル工場並に農場砂糖工場等見学、その素晴らしい驚かされた。猶日本人の人々の親切さわ忘れずの事出来ないものであり、種々の想出を胸中に、再びアロハの声に送られて一路サンフランシスコに向う。

四月十一日サンフランシスコの海外に至る、期待されたアメリカカ枯れ草のハゲ山の肌が見ゆるのみ無一物の腹から苦胃液が出てフラウの眼に映じた、現地に一瞬の失望を感じたが、饒て雄大な金門橋を抜け、右方に輝比する港や、高層建築の街を見た時、世界文化の粋を以て任ずるアメリカ社会の一端を窺知し得て人力の偉大さを再認識させられた。金門橋は吊橋で、長さ一里以上吊っているワイヤロープの直径一米三十糎余と聞き、その美しさと共に、旅する人の等しく驚倒させるものである。それより第一の吊橋を抜けるこれがベイブリッジで長さ約三千里強二段で、上段は乗用車六台並んで走れるし、下段は電車、バス、トラックが走って居る。常に橋上に平均千台の車が走っている。聞けば耳を疑う様だ。

神話に表はれた造林の元祖 (葛原)

わが国の有史以前、日本全土は高山の頂上を除き殆んど全部が森林だった。アイヌ族はその中に住んで漁撈や狩をしてはくらし、わずかながら耕地を耕しては生活していた。そこでそまぐれ農業技術を持ってきた、いはゆる大和民族が移住して来て森林を切り拓き耕地を作り、稲や麦、粟等を植えて定着した農業経営を始めたのです。こうして平地にある森林は次第に拓かれて農地に代って来たのであります。

西暦紀元頃になると大和の国を中心とする地帯に始めて民族文化の光が見え始め、森林保護の思想が生れて来たと言ふ事です。

併しそれ以前の神話時代に素戔鳴尊が「杉」や「くす」を造船材料とし「ひのき」を宮殿材料に、「まき」を棺桶材料として植林したと言ふ事が伝へられて居ります。

併しそれ以前神話ですから、今の様な植林ではなく、尊は「朝鮮には金銀があるが、これをわが国にもって来るには船がなければならぬ」と云は

神話に表はれた造林の元祖 (葛原)

車が悪く矢の様な時は此の事であらう。その為交通事故で死ぬ人は、朝鮮戦線で戦死するより多いと言つ。建国祭と称してこの間に二百六十余名が交通事故で死んだと新聞に報せられた。

シスコより僅か一時間でスタックトン市(人口十万人)に着く、日本人のホテルに一泊、アメリカ第一夜をダブルベットに一人緊張の融けぬまゝに寝に著く、横浜以来十四日目、今日から何んな生活に入るか正に暗中模索だ。空恐しい様な気持ちで明日からの生活を夢見つ、……

も八月下旬九月上旬に淡緑色になつたら、反当硫酸一貫内外と塩化加里一貫位を施用する。

病害虫 二化螟虫に対しては八月下旬九月上旬(予防燈の調査により通知する)にバラチオン剤を散布する。イモチ病に対しては、フェニル塩化水銀を主剤とせる粉剤(セレスン石灰等)又は銅水銀剤の水溶液を散布する。

灌排水 八月上旬に足跡の深くつかぬ程度に灌水をしてから、以後は常に灌水する。落水すると螟虫やイモチ病の被害が大きくなるので注意すること。

蔬菜白菜 早生種は八月中、下旬に播種し、普通種は九月上旬に播種してバイラス病の被害を防ぐこと。

長尾普及員

六月購入図書

著者名	図書名
長谷川如兵衛	昭和文学全集37
等信太郎	農業図説大系4
野口弥吉	現代随想全集18
高浜虚子	現代随想全集18
積田吉	現代随想全集18
テクシユベリ	現代随想全集7
田辺寿利	人口と民族
梶井基次郎	現代随想全集43
堀辰雄	現代随想全集43
後藤真太郎	現代随想全集8
文化財協会	日本文化財写真集4
毎日新聞社	歴史の見方
森岡敏雄編	大東亜戦争写真史1
中村孝也	奈良良家
主婦の友社編	住みよ家の新築集
権澤やすお	安寿と厨子姫
滝沢みちこ	水戸黄門漫遊記
斎藤みちこ	水戸黄門漫遊記
笹山しげる	紅はこべ

六月分閲覧統計		開館日数25日	
職別	男	女	計
公務員	51	46	97
官吏	48	0	48
農業者	30	0	30
学生	3	0	3
生徒	22	60	82
児童	355	160	515
その他	48	12	60
無職	15	9	24
計	630	299	929

分類別	男	女	計	一日平均
総計	80	27	107	4.2
記文学	5	0	5	0.2
歴史	121	104	225	8.91
自然科学	4	0	4	0.16
工業	8	0	8	0.3
農業	10	3	13	0.5
芸術	280	190	470	18.8
言語	15	3	18	0.7
計	301	254	555	22.2
計	856	593	1,449	58

図書館休館日の変更について

土曜日、日曜日は午後迄開館
月曜日午後から休館
火曜日休館

かたひら
中島 菊夫 左基五郎
志賀直哉 現代随想全集20
島本健作 昭和文学全集38
岡田米夫編 伊勢神宮
和田伝二 川家徳
山岡英治 母の生き方
古川綱母 折々の山旅
吉川三三 九州の山旅
橋本三三 九州の山旅
渡辺辰雄編 アルス写真講座3
野々山光金 新しい農業の使い方
玉川一郎 話のアーカイブ